

食の安全のミカタ、社会科学的な評価で美味しいを当たり前

- 所属名 / 環境農学研究部門 農業経済学分野
農業経済学系
- 研究者名 / 窪田 さと子
- 職位 / 助教
- 専門分野 / 農業経済学、家畜衛生経済学、食品衛生経済学

TEL : 0155-49-5439 FAX: 0155-49-5439

Email : skubota@obihiro.ac.jp

研究内容の特徴

「農場から食卓まで」の食の安全を確保する仕組みを構築するため、経済学的な視点から生産者・流通業者・消費者の行動を評価する研究をしています。

技術アピール・マッチングニーズ

1. 『畜産農家間のリスクコミュニケーション』: 重篤な家畜感染症の発生地域において求められる畜産農家及び関係機関間のリスクコミュニケーションのあり方を行動経済学の観点から探ります。
2. 『食品製造管理の高度化に関する評価』: 国際水準のGAPやHACCPの経済性について包括的なフードシステムの視点から評価し、その支援体制について明らかにします。
3. 『消費者の食品表示に関する選択行動』: ハラルや無薬飼料など食品に関わる認証やラベルが消費者の「好み」に与える影響を明らかにします。

キーワード：食の安全・行動経済学・
リスクコミュニケーション・GAP・HACCP・消費者行動



上段:「ハラル」に関する消費者アンケート調査
下段:ミャンマーの生乳販売市場調査